

学校だより



みなみたなか

平成25年9月30日
練馬区立南田中小学校
校長 梶谷 雅弘

25年度「全国学力・学習状況調査結果」についての分析と考察

校長 梶谷 雅弘

前号で、平成25年度「6年全国学力・学習状況調査結果」の数値をお知らせしましたが、詳しい分析と考察についてお知らせいたします。この結果を今後の授業改善に生かして参ります。

1. 平成25年度 全国学力テスト 各教科平均正答率の比較 (%)

| | 国語A：主として知識 | 国語B：主として活用 | 算数A：主として知識 | 算数B：主として活用 |
|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 全国平均 | 62.7 | 49.4 | 77.2 | 58.4 |
| 東京都（公立）平均 | 64.8 | 52.1 | 78.4 | 60.8 |
| 練馬区平均 | 66.7 | 54.3 | 79.7 | 63.0 |
| 南田中小6年平均 | 70.9 | 57.8 | 79.7 | 64.9 |

(参考) 国語A：1位秋田県(71.7%) 2位青森県(68.7%)

国語B：1位秋田県(59.1%) 2位石川県・福井県・・・54.3%

1) 平均正答率について

全国平均と比べると、国語Aでは、8.2ポイント、国語Bでは、8.4ポイント、算数Aでは、2.5ポイント、算数Bでは、6.5ポイント、それぞれ上回っている。
練馬区平均と比べると、算数Aが区と同じであるが、他については、区の平均をそれぞれ上回っていた。

2. 国語A:主として知識(分類・区分別集計結果)について

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | | 評価の観点 | | | | 問題形式 | | 費校 | | 東京都(公立) | | 全国(公立) | | |
|-------|---|-----------------------------------|-------------------|------|-------------------|----------------------|--------------|---------|------|------|-----------------|-----|-----|-------|---------|---------|--------|---------|--------|
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝道的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 国語への関心・意欲・態度 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 正答率(%) | 無解答率(%) | 正答率(%) | 無解答率(%) | 正答率(%) |
| 1-(1) | 漢字を読む(乗り物の差を買う) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む | | | 56 (1)ウ (ア) | | | | | | | | | 100.0 | 0.0 | 98.9 | 0.5 | 98.9 | 0.5 |
| 1-(2) | 漢字を読む(子孫のためにゴミをへらす) | | 56 (1)ウ (ア) | | | | | | | | | | | 88.2 | 0.0 | 80.8 | 2.4 | 79.2 | 2.2 |
| 1-(3) | 漢字を読む(めずらしい植物を採集する) | | 56 (1)ウ (ア) | | | | | | | | | | | 76.5 | 0.0 | 66.7 | 3.0 | 64.9 | 3.1 |
| 1二(1) | 漢字を書く(魚を並く) | 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く | | | 36 (1)ウ (ア) | | | | | | | | | 82.4 | 2.0 | 69.3 | 7.6 | 72.4 | 5.6 |
| 1二(2) | 漢字を書く(バスがでいしした) | | 56 (1)ウ (ア) | | | | | | | | | | | 56.9 | 5.9 | 50.5 | 11.7 | 46.9 | 11.0 |
| 1二(3) | 漢字を書く(委員会をもうける) | | 56 (1)ウ (ア) | | | | | | | | | | | 47.1 | 37.3 | 53.1 | 30.1 | 53.5 | 27.4 |
| 2- | ことわざの意味として適切なものを選択する(石の上にも三年) | ことわざの意味を理解する | | | 34 (1)ア (イ) | | | | | | | | | 76.5 | 0.0 | 73.1 | 1.2 | 71.1 | 1.2 |
| 2二 | ことわざの意味として適切なものを選択する(急がば回れ) | | 34 (1)ア (イ) | | | | | | | | | | | 100.0 | 0.0 | 86.7 | 1.2 | 86.1 | 1.2 |
| 3- | 文のはじめの5文字を丸で囲む | 文の定義を理解する | | | 12 (1)イ (カ) | | | | | | | | | 58.8 | 13.7 | 44.0 | 17.2 | 36.5 | 20.2 |
| 3二(1) | 接続語を使って1文を2文に分けて書く | 文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く | 56 ウ | | 34 (1)イ (ウ) | | | | | | | | | 25.5 | 19.6 | 28.2 | 10.5 | 23.4 | 10.3 |
| 3二(2) | 「だから」と同じような働きをする接続語として適切なものを選択する | 接続語「だから」のもつ働きを理解する | | | 34 (1)イ (ウ) | | | | | | | | | 90.2 | 3.9 | 84.7 | 2.9 | 83.3 | 3.5 |
| 4ア | 「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く | 目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く | | | 56 エ | | | | | | | | | 78.4 | 3.9 | 74.5 | 11.5 | 72.4 | 11.9 |
| 4イ | | | 56 エ | | | | | | | | | | | 84.3 | 7.8 | 73.7 | 17.2 | 71.3 | 18.1 |
| 4ウ | 「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く | | 56 エ | | | | | | | | | | | 58.8 | 9.8 | 48.2 | 20.1 | 44.9 | 20.3 |
| 5ア | マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する | 広告を読み、編集の特徴を捉える | | | 56 ウ | | | | | | | | | 72.5 | 11.8 | 65.8 | 9.6 | 61.1 | 9.2 |
| 5イ | | | 56 ウ | | | | | | | | | | | 74.5 | 11.8 | 73.8 | 10.7 | 71.7 | 10.3 |
| 6アイ | 焚火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する | 俳句の情景を捉える | | | 56 エ | | | | | | | | | 51.0 | 17.6 | 49.2 | 14.7 | 47.5 | 14.4 |
| 7 | 選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものと適切なものを選択する | スピーチの表現を工夫する | 56 イ | | 56 (1)イ (ウ) | | | | | | | | | 54.9 | 21.6 | 46.0 | 22.3 | 43.2 | 21.9 |

- 「委員会をもう（設）ける。」のもうけるという漢字の正答率が、47.1 %と低かった。
- 「接続後を使って一文を二文に分けて書く。」問題の正答率が、25.5 %と低かった。
- 「焚き火とその周りの景色との関係を表したものとして適切なものを選択する。」という俳句の情景を捉える問題の正答率が、51.0 %と低かった。
- 「選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する。」というスピーチの表現を工夫するという問題の正答率が、54.9 %と低かった。

3. 国語B:主として活用(分類・区分別集計結果)について

設問別集計結果

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 学習指導要領の領域等 | | | | 評価の観点 | | | 問題形式 | | | 貴校 | | 東京都(公立) | | 全国(公立) | |
|------|--|------------------------------------|------------|------|------|----------------------|---------|------|------|-----------------|-----|-----|------|--------|---------|--------|---------|--------|
| | | | 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 話す・聞く能力 | 書く能力 | 読む能力 | 言語についての知識・理解・技能 | 選択式 | 短答式 | 記述式 | 正答率(%) | 無解答率(%) | 正答率(%) | 無解答率(%) | 正答率(%) |
| 1ー | 助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する | 相手の立場や状況を感じ取って聞く | 56 | | | | | | | | | | 78.4 | 0.0 | 81.4 | 1.1 | 78.8 | 1.2 |
| 1二 | 6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する | 話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をする | 56 | | | | | | | | | | 60.8 | 0.0 | 53.4 | 1.3 | 48.5 | 1.2 |
| 1三 | 川本さんの助言についての説明を書く | 話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする | 56 | 56 | | | | | | | | | 70.6 | 3.9 | 66.1 | 11.1 | 67.2 | 9.7 |
| 2ー | 「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える | 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える | 56 | 56 | | 34 | | | | | | | 70.6 | 3.9 | 66.7 | 4.9 | 63.8 | 4.4 |
| 2二 | 『ずかんの一部』の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く | 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く | 56 | 56 | | | | | | | | | 43.1 | 9.8 | 32.2 | 13.3 | 26.2 | 13.3 |
| 2三 | 複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く | 目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く | 56 | 56 | | | | | | | | | 21.6 | 19.6 | 18.8 | 22.1 | 17.8 | 20.4 |
| 3ーア | 【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く | 2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える | | 56 | | | | | | | | | 64.7 | 9.8 | 53.9 | 16.5 | 49.7 | 15.7 |
| 3ーイ | 【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く | | | 56 | | | | | | | | | 51.0 | 21.6 | 46.1 | 29.7 | 45.3 | 28.8 |
| 3ーウ | 【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く | | | 56 | | | | | | | | | 58.8 | 23.5 | 46.7 | 31.3 | 44.6 | 30.6 |
| 3二 | 2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する | 2人の推薦文を比べて読み、読み方の違いを捉える | | 56 | | | | | | | | | 58.8 | 17.6 | 55.5 | 11.0 | 51.9 | 10.6 |

- 「『ずかんの一部』の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く。」という「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書けるか。」との問題の正答率が、43.1 %と低かった。
- 「複数の内容を関係づけた上で、自分の考えを具体的に書く。」という「目的や意図に応じ、複数の内容を関係づけながら自分の考えを具体的に書けるか。」との問題の正答率が、21.6 %と低かった。
- 「『花田さんが書いた推薦文』において推薦している理由を書く。」という「2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉えることができるか。」との問題の正答率が、51.0 %と低かった。

4. 算数A:主として知識(分類・区分別集計結果)について

分類・区分別集計結果

| 分類 | 区分 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|-----------------|----------|----------|---------|--------|
| | | | 貴校 | 東京都(公立) | 全国(公立) |
| 学習指導要領の領域 | 数と計算 | 8 | 82.1 | 81.6 | 80.2 |
| | 量と測定 | 4 | 67.6 | 68.5 | 68.3 |
| | 図形 | 3 | 79.1 | 74.5 | 72.5 |
| | 数量関係 | 4 | 87.3 | 85.1 | 83.4 |
| 評価の観点 | 算数への関心・意欲・態度 | 0 | | | |
| | 数学的な考え方 | 0 | | | |
| | 数量や図形についての技能 | 8 | 86.0 | 87.4 | 86.2 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 11 | 75.0 | 71.9 | 70.5 |
| 問題形式 | 選択式 | 8 | 73.3 | 69.9 | 68.2 |
| | 短答式 | 11 | 84.3 | 84.7 | 83.6 |
| | 記述式 | 0 | | | |

- 「AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ。」という「単位量当たり大きさを求める除法の意味を理解しているか。」との問題の正答率が、52.9 %と低かった。
- 「 $1a$ (1アール)と等しい面積になる正方形の一辺の長さを選ぶ。」という「 $1a$ (1アール)の面積と等しい正方形の一辺の長さを理解しているか。」の問題の正答率が、54.9 %と低かった。
- 「上底3cm、下底8cm、高さ4cm、斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く。」という「台形の面積の求め方を理解しているか。」との問題の正答率が66.7 %と、全国の前年より、6.6

ポイント低かった。

5. 算数B:主として活用(分類・区分別集計結果)について 分類・区分別集計結果

| 分類 | 区分 | 対象設問数(問) | 平均正答率(%) | | |
|-----------|-----------------|----------|----------|---------|--------|
| | | | 貴校 | 東京都(公立) | 全国(公立) |
| 学習指導要領の領域 | 数と計算 | 3 | 59.5 | 51.7 | 48.3 |
| | 量と測定 | 7 | 64.4 | 58.7 | 56.0 |
| | 図形 | 3 | 85.6 | 81.2 | 79.3 |
| | 数量関係 | 7 | 61.3 | 57.8 | 54.9 |
| 評価の観点 | 算数への関心・意欲・態度 | 0 | | | |
| | 数学的な考え方 | 8 | 54.7 | 49.6 | 46.8 |
| | 数量や図形についての技能 | 1 | 74.5 | 77.7 | 76.1 |
| | 数量や図形についての知識・理解 | 4 | 82.8 | 79.0 | 77.2 |
| 問題形式 | 選択式 | 4 | 78.4 | 76.2 | 73.8 |
| | 短答式 | 4 | 69.6 | 64.6 | 61.9 |
| | 記述式 | 5 | 50.2 | 45.5 | 43.2 |

- 1) 三つの買い方の中から最も安くなる買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述できるか。という問題の正答率が、51.0%と低かった。
- 2) 示された実験の結果から、振り子の長さ 10 往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書くことができるか。という問題の正答率が、45.1%と低かった。
- 3) 示された分け方が元の長方形を4等分していることとの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを記述できるかという問題の正答率が、45.1%と低かった。
- 4) 示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書くという問題の正答率が、52.9%と低かった。
- 5) 帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットでの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く。という問題の正答率が、49.0%と低かった。

6. 国語・算数についての分析と考察

- 1) 本校の国語A・Bの平均正答率は、ともに全国の都道府県別正答率で見ると、秋田県に次ぐ全国第二位に相当するものであった。
- 2) 正答率を見ると、漢字を読んだり書いたりする問題で、全員が正答したのもあれば正答率が全国の平均を下回るものなどがあつた。これからも、各学年で学習する漢字の学習をきめ細かに行う必要がある。
また、その定着をはかるために、家庭での復習する時間を増やしていくよう家庭と連携をしていく必要がある。
- 3) 区立南田中図書館からの支援を受けながら、「目的に応じた読み方や表現方法を指導し、言語活動を充実させることで、自分の思いや考えを表現できる子が育つだろう。」と研究仮説を立て、授業改善に努めてきたが、仮説が正しかったことが実証されたものとする。
国語の時間に身に付けた力を他教科でも発揮できるよう、他の教科も含めた授業の改善に引き続き努めていきたい。
- 4) Bの活用の問題では、「複数の内容を関係づけた上で、自分の考えを具体的に書く。」など、本文を読み、知識やその情報を関係づけて自分の考えをもたせるなどの指導を工夫する必要がある。
- 5) 算数では、問題により、全国の平均正答率を下回るものもあつた。算数的活動を取り入れ台形の面積などの公式を導く過程を充実させ、児童自らが主体的に既習事項を活用して解決する経験を積み重ねていきたい。
また、課題解決に当たり、資料を読み取り立式し求答した際、その答えがあっているか振り返らせその理由を考えさせるなどの指導を日々の授業で繰り返し体験させ、問題解決能力を高め、「数学的思考方」を育成し、思考力・判断力・表現力を身に付けさせるようにしていきたい。

7. 本校の経年比較(南田中小学校の全国学力・学習状況経年比較。22年度は実施していません。)

全国学力・学習状況調査の調査結果については、過去の調査と調査問題が異なることから年度間の平均正答率による単純な比較はできませんが、それぞれ各年度の調査における全国(国・公・私)の平均正答率(問)がそれぞれ100となるように標準化した場合の得点を算出して一覧表にしました。

| | | 25年度調査 | 24年度調査 | 22年度調査 | 21年度調査 | 20年度調査 | 19年度調査 |
|----|----------|---------|---------|--------|---------|---------|---------|
| | | 南田中小学校 | 南田中小学校 | 南田中小学校 | 南田中小学校 | 南田中小学校 | 南田中小学校 |
| 国語 | 標準化得点 | 104 | 103 | | 96 | 98 | 101 |
| | 平均正答率(問) | 12.8/18 | 14.8/17 | /15 | 11.1/18 | 11.1/18 | 14.9/18 |
| 国語 | 標準化得点 | 103 | 103 | | 99 | 100 | 103 |
| | 平均正答率(問) | 5.8/10 | 6.8/11 | /10 | 4.9/10 | 6.1/12 | 7.2/10 |
| 算数 | 標準化得点 | 101 | 100 | | 96 | 98 | 100 |
| | 平均正答率(問) | 15.1/19 | 13.9/19 | /19 | 13.0/18 | 12.9/19 | 15.5/19 |
| 算数 | 標準化得点 | 103 | 102 | | 100 | 100 | 96 |
| | 平均正答率(問) | 8.4/13 | 8.2/13 | /12 | 7.6/14 | 6.7/13 | 7.2/14 |

上記の表の通り、児童の学力が向上してきています。これは、平成21年5月に本校の敷地内に体育館との合築により完成した練馬区立南田中図書館から尾原由記学校図書館支援を通じて、国内最高水準の支援を受け授業を推進してきた成果が現れてきたものと考えています。これまでも、並行読書等を積極的に取り入れ授業改善に努めてきましたが、今後も、「自分の考えをもち、表現できる子の育成」を目指して、日々授業改善をしながら児童の指導に当たって参ります。

WFPエッセイコンテスト2013に、お二人の保護者の方にもご協力いただき、79編のエッセイを送付しました。お陰様で、2370円の寄付をすることができました。応募してくださった皆様にご心より御礼申し上げます。